

王女凌辱

Garnet



ABURA  
KATABURA

SINCE 1995

トレノにて……

ちよつと待てよ、ダガー  
とこに行くんだ？  
女の子一人で  
出歩くには  
この街は危険すぎるぜ

ちよつと  
トット先生に  
用事があるの

ちよ  
ちよ

ワウ

……ジダン  
心配してくれてるのは  
嬉しいんだけど……  
いつまでも世間知らずの  
お姫様じゃないわよ  
大丈夫だから！  
じゃあ、後でね

……本当に  
大丈夫かなあ

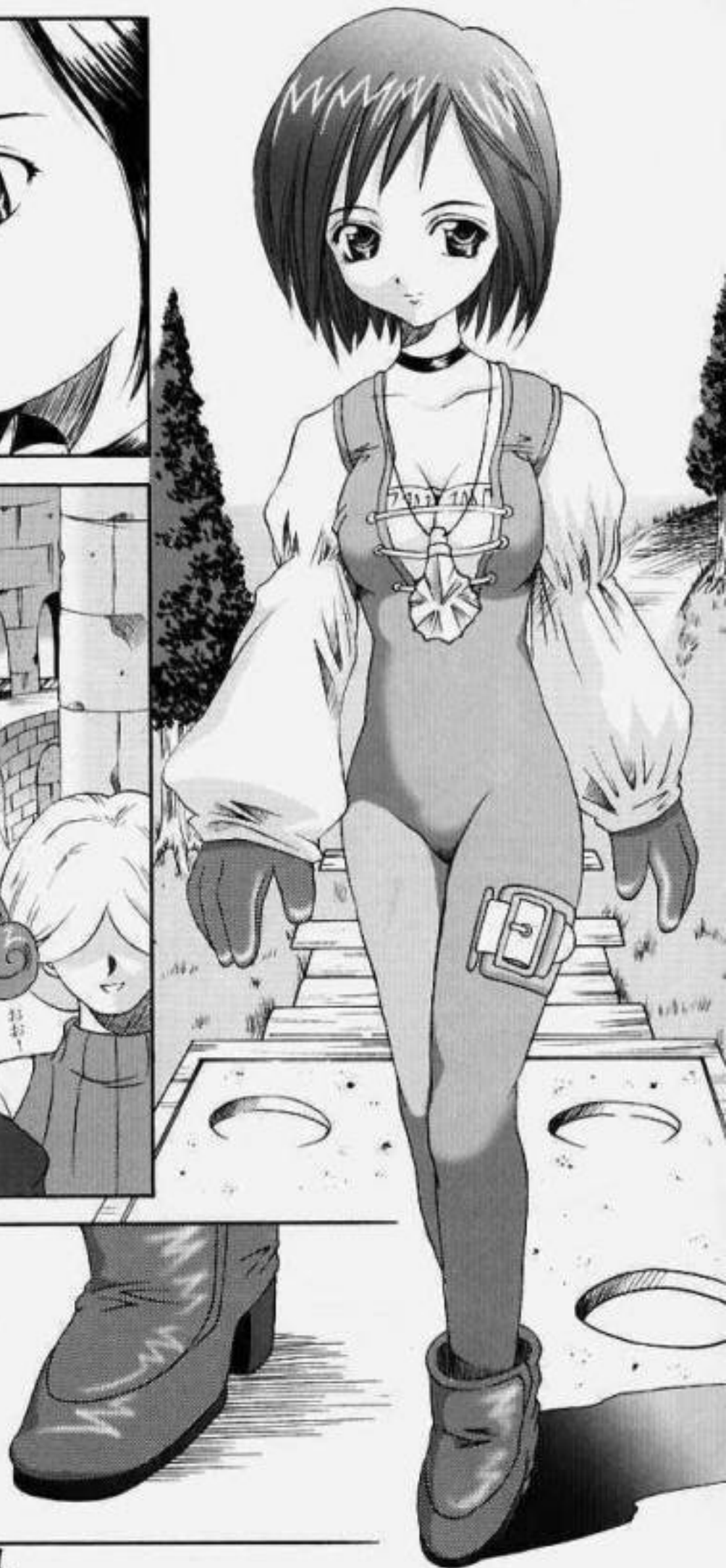
# 王女凌辱 — 姫奴隷調教 —

これから語られる悲劇は  
とある大国の王女様に  
突如としてふりかかった  
数々の受難の物語……  
はたして、王女様の  
運命や、如何に？





unknown





しかも、ありや男を  
知らないそうですぜ  
いったいどんな声で  
泣き叫ぶのか・・・  
想像するだけで  
・・・ヒビヒツ



おい、最近スゲー  
上玉がこの辺に  
現れるって言う  
噂は、本当だったな  
へへ、マジで美少女  
じゃねーか



へい、兄貴!

今回の獲物は  
あいっにする  
たっぶり  
かわいがって  
やろうぜ

トット先生との昔話は  
時が経つのを  
忘れさせる程  
盛り上がりました。  
しかし、そのために  
王女様は……



トット先生  
それでは  
失礼します



そのお嬢さん  
待ってくれッ  
話があるんだけど  
ちよっといいかな



ふう、もうこんなに  
暗くなってる  
はやく帰らないと  
ジタンに叱られちゃうね



な、なんですか  
軽々しく  
触れないで  
ください

むっ

ぽっ

っ







ダガーのヤツ  
 ・  
 ・  
 ・  
 何してるんだ  
 心配だなあ・  
 ・  
 ・

ん  
 っ



・  
 ・  
 ・  
 遅い  
 と言うか  
 もう辺りは  
 真っ暗じゃないか



トット先生に  
 会いに行ったのであれば  
 案ずる事はないじやろうて  
 おそらく、トット先生の家に  
 泊まっているのであろう



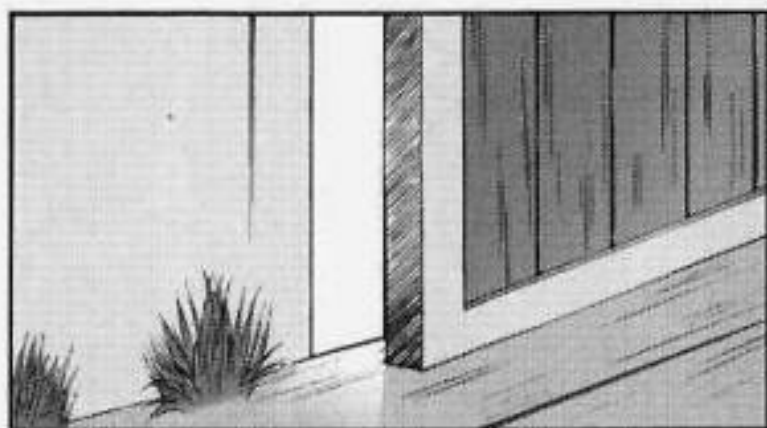
どうしたんじや、ジタン  
 そんな所で  
 何をしておる？

ああ、フライヤ  
 実はまだダガーが  
 帰ってこないんだ

ふふふ、ジタンは  
 心配性じやな  
 まあ、気の済むまで  
 待っていればよい事  
 じやがな



そ、そうかな







あつ、あああ……



ううん、やっぱり  
処女は縮まりがいいぜ  
ゆっくり、品定めして  
やるからな  
ぎやははははッ

ぬふっ

ううっ……

しかし、まあ派手に  
抵抗してくれたもんだ  
顔に痣が残っちゃった  
じゃねーかよ



いやあ……  
来ないで



ん？  
これは……

だめ

やめてーッ



お嬢ちゃんの持ち物か  
随分と高価そうな  
宝石だな……

ちょっと待てよ  
これは……  
もしかして  
天竜の涙？  
と言う事は……

まさかッ







わかったのなら  
今すぐ  
解放しなさいッ  
これは命令ですッ



あん？何言ってるんだ  
王女様がなんだってんだ  
この状況で、命令？  
お姫様は世間知らず  
でございますな

くっ



おい、信じられるか  
どうやら、そのお嬢ちゃん  
・・・いや、そのお方は  
アレクサンドリア王国  
はじまって以来  
最も美しい姫君と言われた  
あのガーネット王女だぜ・・・



そっ、そんな・・・

さあ、麗しの王女様だと  
分かって、余計に燃えてきたぜ  
ひとまず、今は下賤の盗賊に  
たっぷりと輪姦されて  
いただきますようか  
その後は、たっぷり調教して  
姫奴隷として闇市場で  
金持ちのマニア共に  
売りさばいてやるぜッ

000G

喝

それじゃあ、まず  
お姫様には私めの  
臭くて汚い男根を舐めて  
いただきますようか



unknown



痛たたッ  
何しあがるんだ  
このアマツ



よくも  
オレ様の  
イチモツを  
噛んでくれたな



次にこんなミスしたら  
その時は、  
こんなものじゃ  
すまないぜ  
わかったかッ、  
姫奴隷ガーネット!

……はい



おかげでトランス状態に  
なっちゃったじゃねーか  
おしおきた、くらえ  
必殺ローリングクチンポ



あうっ



さあ、今度こそ  
オレのチンポを  
隅々まで  
舐めまわしてくれよ





いつ、いつか  
奥まで  
ズ、ズ、ズといけよ



グビビ、かわいいお顔に  
こ、濃いスベルマ  
ぶっかけられた後に  
すぐで悪いんだが  
ひ、姫様、ご自分から  
私めのイチモツを喰え込んで  
いたかったですよ

はうッ

ギヤーハツハツ  
そうだ、いいぞおお  
ひ、姫様が自分から



ああ、オイラ感激だあ  
今まさに  
あの気品溢れる  
ガーネット姫様を  
下賤のチンポで  
汚しまくってるんだ

あなた達こんな事して  
ただですわと思ってるの  
私はあなた達の言うように  
ガーンネットですッ

これら、あつ  
数々の無礼な振る舞い  
表沙汰になれば、はあつ  
あ・あなた達は  
必ず死刑になり・

ひゃひゃひゃ  
そ、そんな心配は  
いらなんだな

そ、そんなのって  
あふう

だっ、だつて、  
お、おまえを完壁に従順な  
姫奴隷に調教しあがるまで  
お、オイラ達の凌辱は  
続くんだからなあ

そ、それにしても、姫様  
スゲー締め付けだけぞ  
こ、こりやあ、アソコの具合も  
ヒヤーヒヤヒヤッ







オラツ、が、ガーネット  
寝てる場合じゃねーぞ



ウビヒヒヒヒーッ  
あ、あのガーネット姫様に  
膣内射精できるなんてッ  
もしかして、オイラ達の子供が  
お、王子様になるのかなあ

ああ……

あの時、  
素直に逃げていれば……  
でも、輝きたかったの  
私はね、宝石のガーネット  
みたいに輝きたかった  
だけなのに……

オイラの目の前で  
あの可憐なお姫様が  
アソコから大量の精液  
たらしながら  
また、気を失ってるぜ  
サイコーーオオオ



こんな事になるんだったら  
ちやんとジタンの言う事  
聞いておくんだったな……



一方その頃、ジタンは  
お姫様のお帰りを  
いまだに待ち続けて  
いたのです……  
もう二度と会えないとは  
つゆ知らずに……



おーおーおー

……遅すぎるぞ  
ダガー……  
オレにはこのまま  
待ち続ける事しか  
できないのか？



そして、王女様は  
下賤の盜賊達の  
慰み者となり  
いつしか、ただの  
王立肉便所と成り果てて  
しまいました……





連日、輪姦しまくってのせいで  
意識が朦朧として  
やがるな……



オラッ  
気合入れて  
犯られろ  
肉便所ッ



へへへ  
忠誠の証です  
姫様ってか？

きやふっ



毎日、輪姦しまくったせいで  
すっかりガバガバに  
なっちまったその姫様の花弁に  
オレ様の思すんだ汚ねー劍を  
ささぐせ

さあ、今日からは  
お姫様の  
うしろの穴の方にも  
ハメこんでやるぜ  
やっぱり王立肉便所と  
言うからにはケツも  
使えないとなあ

WA

500000G

つーことは  
いきなり二本挿し  
かよ、お前も  
ヒドイ奴だねえ

えっ、  
何……ッ

お姫様の後ろの  
ロストバージンの  
瞬間だッ

そっ

いつ、痛いッ  
いやあッ  
……やめてッ

ひぎゅううううう

ひひひ、せっかくの  
お薬しみに悪いが  
あいつらが両方の穴  
塞いじまったから  
オレは乳首でイカせて  
もらうぜ

ミ  
コ  
ミ  
コ





シメツ  
シメツ

オラ、オラッ  
しっかり腰  
使えよ

げげっ、オレのマラと  
お前のマラが  
ガーネットの隙内で  
擦れあつてるじゃねーか  
気持ち悪いなあ



こうして、王女様は  
成すすべなく、身も心も  
盗賊達の奴隷に  
成り下がっていったのです  
もう、そこには気品溢れる  
美しい王女様の姿はなく、  
売られる目を持つだけの  
ただの姫奴隷しかいませんでした



なあ、肉便所ッ  
いったい、  
どんな気分なんだ  
一夜にして  
何もかも失った王女様の  
心境つてのはよお

あうっ

そして、肉便所へへの  
凌辱はとどまるところを  
知りませんでした  
盗賊達は、欲望の全てを  
自分達の母なる王国の  
姫様であった  
ガーネット様の體內に  
ぶちまけていったのです



そーいや、コイツ  
初めて会った時の  
抵抗が嘘のように  
最近、従順になったよな  
まあ所詮、姫様なんて  
そんなもんかな



んっ



ギヤハハッ  
何も命令してないのに  
こいつ自分から  
腰使ってやがる  
この淫乱メスブタめ



ゲへへへへへーッ  
あのガーネット姫を  
三ところ責めたぜッ



どひやひやひやひや  
今日も精液まみれだな  
肉便所姫ッ  
もうこの臭いにも  
慣れてきたんじゃないか

・・・はい  
ご主人様  
と、とてもいい  
臭いが・・・します

ひひひ、最近  
従順になって  
きたから  
ご褒美をやるう

王女様は、自らを快楽に  
溺れさせる事で  
現実逃避を  
試みましたが  
調教に手慣れている  
盗賊達には  
通用するはずが  
なかったのです・・・





もう片方の  
乳首にも・・・  
そらッ

へへ、最後に  
アソコに・・・  
いい声で  
泣いてくれよッ

ぎやふんッ

スッ

ひや？  
あやふひゆううウッ

こんなのつてないよ  
どうして私が  
こんな下賤の男共に  
いい様に輪姦された  
挙げ句に、こんな物まで  
刺されて・・・  
ねえ、誰か助けてよ  
私は、私には・・・  
解くことなんて  
できないよ  
ねえ・・・シタン・・・

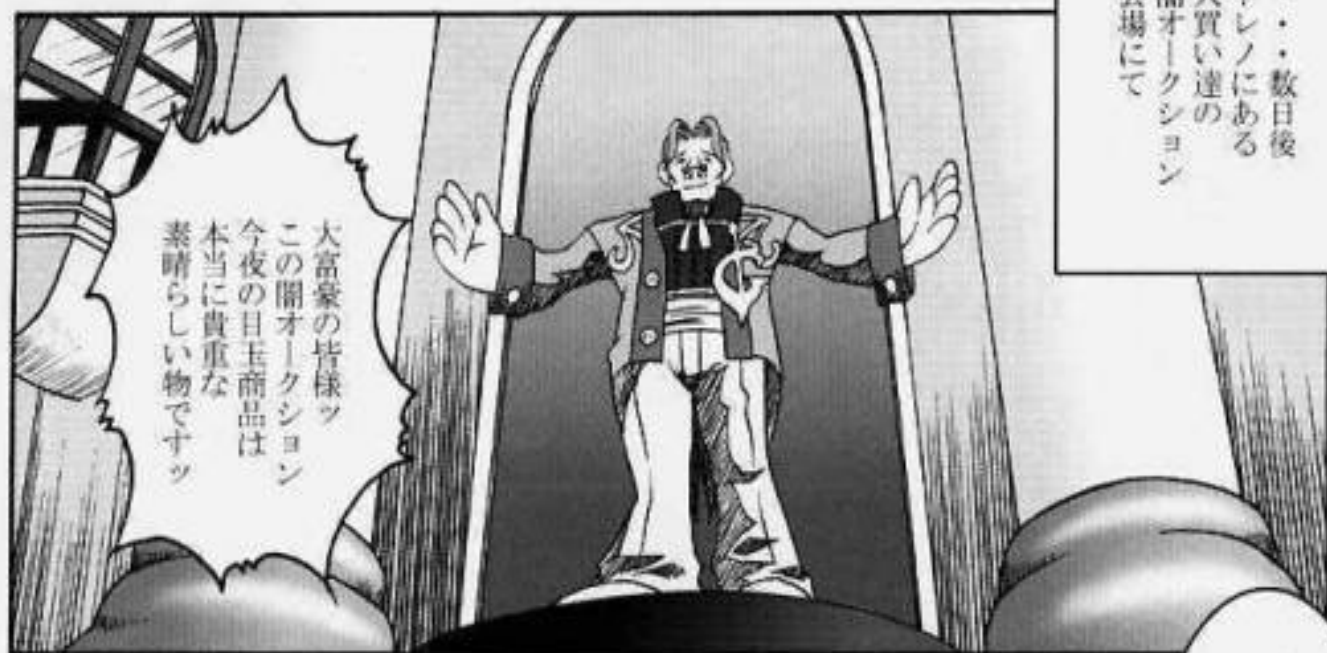
はあ

はあ

散々、輪姦された挙げ句  
羽根ペンで  
デコレーションされて  
売られていく姫奴隷・・・  
こうなると王女様と言っても  
ただのメスブタ・・・  
いや、それ以下だな  
ぎやはははははっ

そして、運命の日がやってきました・・・

・・・数日後  
トレノにある  
人買い達の  
開オークション  
会場にて



大富豪の皆様ッ  
この開オークション  
今夜の目玉商品は  
本当に貴重な  
素晴らしい物ですッ

さあ、登場して  
いただきますよう



この豪華なドレスを  
身に纏いし令嬢・・・  
そうレここで見えた事が  
ありませんか？  
今日は大胆に大事な花弁には  
天竜の涙をコーディネイトッ  
そう、このお方こそ・・・



unknown



姫奴隷  
ガーネットツ

み、皆様、ご機嫌麗しゅう  
どうぞ、心行くまで  
ご堪能ください・・・  
・・・ガーネットの  
いやらしいアソコを  
見てやってください  
・・・見てええ

To be continued...

・・・姫奴隷を  
屈服させるッ

**For Adult Only**